

東北の工時報

行發日五廿日五月毎
吉梅越堀 行發兼神
八三町銀白北市平縣島福
社報時工南北東 所行發
六 警 川 古
錢拾五部一錢廿金 料告廣一
錢十部一錢廿金 月ケ一

小名濱港務署

愈よ近く設置さる

小名濱便り

躍進途上にある小名濱商港は第二種重要港として第一期工事完成後と共に愈々新築中海産組合事務所並に倉庫二棟の上東式は去る五月になり、目下縣當局で立案月廿九日、完成は六月中旬中であるが、事務所は舊内の豫定。

務省築港事務所を岩壁附近小名濱海産物卸商業組合でに移轉の上一部増築し、燈は去る三月中低利資金八萬圓、土木港務を一時一ヶ所圓の借入れを縣を通じ商工に置き更に分離の模様で省に申請中であつたが中央が六月中には竣工、重要金庫に直接申込み借入れの港灣利用の入航税、繫船税促進を計るため組合長役員その他一切の主管事務監督數氏は水難救濟會大會出席に任ずる事になつた

信望絶大

湯本信用無盡株式会社

商工業者の唯一の金融機關

湯本信用無盡株式会社は縣下の各樞要地に支店出張所を近代式營業方針を如實に示設置し、商工業者の金融に現し信望隆々として地方の泉に明治八年三月十一日には鮭の捕かく高は東北第一資し、地方の産業發展に貢金融界は無盡の著しい發展献する處甚大なるものありによつて得るところが多い星源太郎氏は資性は村長紺野榮氏と共力して會社は金融上の問題一切ののであるが、同社はこの點温厚にして高平村の元老と高平村は漁村として縣下に相談に應ずることになつておいて常に多大の注意をして地方民より慈父の如く誇るべき模範村として銚後

平の自治制 發布記念式

六月一日施行さる
平市では去る一日自治制發布五十周年記念式典を舉行青沼市長以下參列の上縣社子鐵倉神社で厳かな奉告祭を行ひ第一小學校講堂で物を確保してゐる

縣下の無盡界に獨自の地歩を確保してゐる
同社今日の隆盛あるは取締役社長鈴木康平氏の力大な東されてゐる

星源太郎氏語る

農村振興に努力せる

人間は感情の動物なり出仰がれるのを見ても如何に來得るならば圓る、柔か人情味のあるかが窮はれるに、そしてお互に濁る心をであらう、よく時代を觀察去つて赤心と赤心と直ちにして時勢と共に歩み處に氏相通する様になりたいた事での偉さがある殊に人物を重に使用分けをする人物の星源太郎氏は九心九意の持主多き今日に於て稀に見る人である然し「九心九意」格者である現に高平村議新かざあれや天心」古人の金田川鮭養殖組合長務めてゐる言であるが



(氏郎太源星は真寫)

屋源太郎氏
九心の
なかに一
倍の負けず
嫌の持主だ
氏は野馬追
で有名な相馬郡高平村大字大に高平村地内の新田川泉に明治八年三月十一日には鮭の捕かく高は東北第一孤々の聲をあげたのが彼れと定評がある。今や高平村星源太郎氏である氏は資性は村長紺野榮氏と共力して温厚にして高平村の元老と高平村は漁村として縣下に相談に應ずることになつておいて常に多大の注意をして地方民より慈父の如く誇るべき模範村として銚後

釣便り

(其二)

一日遊び金二十銭、餌もと思ふ

●糸の様な春雨も佗びし殖した、め遠方から釣客が若鮎が豊富ですから大公望き春の名残りを惜しみ、そ來て毎日早朝から押しかけ連は今から押しかけ日曜日ぞろ生ぬるい風に頬をあてて賑つてゐる……

爽やかな河畔に、あの！俳仁井田川漁業組合は釣客を人の如く世の奥深き人間味特に待遇をしてゐる、亦貸ウグエがつり上げつり客でを抱きながら河畔の流れに舟の便もよくてことに貸舟賑つてゐる

釣の樂しさは亦別世界であらう……

●仁井田川下流新舞子ヶ濱買つてゐる。

●今日は若鮎の時期となつて夏井川上流は昨年よりも

●中村政氏は服部甲校長の好き名バツテリとして氏の存在は太陽の如く潔白な人格者である

●今日裏町の水溝が不衛生の存在は太陽の如く潔白な人格者である

●近頃、野良犬が殖えて危険！通行人のため一日も早く野犬狩を要す。(警成生)

プロファイル

●相馬郡中村第二小學校校長 菊宿諭氏は典型的な教育者として、相馬方面の元老で敬服すべき人格者として亦刈宿校部は常に温厚篤實眞面目な教育者にて一般より知られてゐる

●小野末治氏は前縣視學としての教育界の刷新を計り常に努力者にて徳望の厚い教育者である。

●門馬經義氏は浪江小學校の訓導として亦根本眞治校長の好き參謀長として眞面目なる教育者にて一般町民から尊敬の的となつてゐる

●花井左馬之助氏は福島第一小學校の訓導として一児童教育に一心不亂に研究され情深き氏は常に生徒より慈父の如く愛されてゐる

●服部甲氏は教育者として資性温厚極めて着實の士である

平市七丁目
河田鐵工場
電話三二九番

平市堂ノ前
平製作所
電話四十一番

平市南町
増田耳鼻喉科醫院
電話四八二番

猪狩寅藏 四倉製米配給所

高久病院 内科小兒科其他一般 院長 高久忠 藥劑師 佐竹菊雄 平市田町 電話五一三番

釜屋商店 金物屋 洋鐵 和銅 電話九番九九番 平市

江口伊六 東白川郡豊里村 土木請負業

個人紹介號 本社講讀者 順不同

大連小學校長 植田清

福島第二校 武藤昌

福島第四校 小林金太郎

江名港修築事務所長 窪田茂彌

相馬郡飯豊村 世界彌

福島縣 甲斐啓藏

梅森榮

大和田忠良

木戸村 石川淺次郎

浪江町 朝田材木店

猪苗代小學校 佐藤辰夫

春山小學校 關根參

原町小學校 門馬仲衛

福島市 菅野忠次郎

双葉郡長塚村 長塚修齊女學校 校長 岩東マス

双葉郡長塚村 院長 石川敏

双葉郡新山町 十全堂醫院 院長 半谷松潮

小學校生

作文便り

【其四】 縣下各小學生の作文投稿を歓迎す!

銃後の心

双葉郡久ノ濱小學校 荒 赴彦

親の心

君のお召に喜んで 國に捧げた我が子故

たどひ死んでかへらうと 泣きはせまじと覺悟せど

思はずぬらす夜の枕 何で流すかその涙

昨日も今日も新聞に どの息子が知らぬごも

北支の曠野江南の 街にあらはす大和魂

名譽の働きあつばれと 雄々しき寫眞七つ八つ

天皇陛下萬歳と につこり死んだ戦友の

骨を抱いて入城や クリク渡河に入柱

一番乗りを助けたる 健けな工兵特務兵。

子を持つ親の心なら 魁でなければ皆同じ

これが泣かすにあられよか 我が子の手柄はたらきを

願はぬ親はなれども 現に我が子が人柱

我は名譽の戦死した その父人や母びとの

心の中を思ふ時 これ泣かすにあられよか

今南京も我に歸し 長期懲罰目指すとき

愛し我が子よ自重せよ

老いても父母は健かに 手柄土産を樂みに 汝のかへりを待つてゐる。

ホブラの葉

石城郡豊間村小學校 三女 山野邊俊子

ホブラの葉が 風に落されまいとして

しつかりつかまつてゐる。

ホブラの葉が

水の上で

ひと所で

くるくまはつてゐる。

夢

石城郡豊間小學校 四年 遠 藤 進

僕は大きい人から戦の話を

きくのが何よりもおもしろ

い 時々夢をみることもありま

す昨夜こんな夢を見ました

日本の兵隊さんが軍旗を立て

て、進んで行くらつばも吹

く鐵砲に剣をつけ「やあ」と

聲をあげてかけて行く支那

の兵隊が逃げて行くそのう

ちに日本が勝つて萬才とい

ふ そのうちに目をさました

が 何もなかつた

だいこん

信天郡野田村小學校 尋二 佐藤 信一

おかあさんが

だいこんを切ると

「ざくつ」

といつて

しみだいこんみたいた。

ぼくが

川に行つて洗つたらつめた かつた 手が赤くなつた

兵たい送り

信天郡野田村小學校 尋三 上川 イヨ

「びよー」と泣き音が鳴つ

た

「ばんざい、ばんざい」

兵たいさんは

旗をよつて勇しくさげんだ

私も

聲をかきりにさげんだ

旗をふりふり

小さくなるまで見送つた。

私の妹

石城郡大野村小學校 尋五 女佐藤ツギ

私の妹は今年五になりま

した。私が學校から歸ると

姉ちゃん姉ちゃんといつて

手につかまつてはなれませ

ん、私は妹が大好きです。

家へ歸つてから妹と遊び

ながら鬼の草を刈つて來ま

す、妹はそこへ行くにも一

人では行くことはほんとい

ふりません。買物に行く

き一人でいきますが、

私は妹がかはやくてたまり

ません。

銃後の守り

相馬郡原町小學校 尋六 星 林子

酷寒零下二十余度

兵隊さんは國のため

死を賭して南京を

陥落させてくれました

私達は學の道に精を出し

朝な夕なに身を鍛へ

銃後の守をかたくて 共に御國につくしませう

けんかう

双葉郡幾世橋小學校 尋三 富田 美知

私は小さい時には身体が

弱かつたが、今では組のだ

れよりも太りみんなからう

らやましがれるほどの丈夫

なからだになりました。こ

れもみんなからだを大切に

したからです。それではどん

なことには注意すればよいの

か、早起、早寝をし、いつ

もからだをきれいにことに

手足をうつくしく爪はみち

かくよく、日光にあたり毎

朝ラヂオ体操をしたります

ばどんなによい人でも、

丈夫なからだになる事が出

来るとおもひます。私はさ

ういふことに氣をつけはや

り病氣にかゝぬやうに氣を

つけて居ります。今年はず

物をあまりきないでこの冬

をすこしたいと考へて居

ます。さうして自分のから

だから病氣をたきぬやうに

氣をつけてゐます。

祈武運長久

原町長 堀川一正

全助役 大浦清次

福島市長 佐藤澤

石部市長 豊澤

相馬農藝學校長 佐藤弘毅

川俣町會議員 高橋金藏

渡邊要助

伊達郡細洋組合長 佐久間定衛

大野村長 吉田保之助

大野村助役 荒川庸幸

山田小港郵便局長 大谷辰三郎

久之濱漁業組合長 新妻吉之介

湯本町長 石川徳壽

四倉町長 新妻盛

大浦村會議員 愛川軍治

福島市長 佐藤貞一

竹貫村助役 澤渡藤太郎

同 収入役 有賀正吉

石川郵便局長 下山田源治

石川中學校長 森 深

鹿島村消防組頭 鈴木一男

久之濱町長 新妻貞藏

久之濱郵便局長 高岡徳次郎

福島市會議員 矢萩信二郎

上岡村助役 遠 藤 正

浪江小學校訓導 門 馬 經

荻野小學校長 佐藤清照

太田信用組合専務 牛來芳太郎

石神第一小學校長 鈴木兵喜

高平村長 紺 野 榮

原町實科女學校長 村田嘉吉

磯部小學校長 門 馬 訂

八幡村消防組頭 新 關 廣

内郷第三小學校長 鈴木重顯

鹿島小學校長 大 越 治

鹿島町會議員 星 理綱

相馬郡原町南新田 土木請負業 庄司卷造

相馬郡石神村 土木建築請負業 大田光榮

土木建築請負業 關場清松

土木建築請負業 木村忠太郎

相馬郡鹿島町 平病院

醫學博士 鈴木定藏

近津村長 戸部平藏

同 助役 武池義三

近津村 古市與平

材木炭間屋 渡邊松太郎

棚倉町 電話四八番

瑞 町 花屋本店

割烹 早田政市

瑞 町 丸屋旅館

青砥善雄

祝市制一周 年記念

平市大町 渡邊鐵工所

好間村 銀色瓦工場 小野無比雄

鑿城サモント 煉瓦製造所 鈴木辰秋

赤井村 矢野材木店

店主 矢野 清市

平市杉ノ内 松吉屋酒造店

鶴仙 銘酒 四家酒造店

福美 店主 四家 又一

石城郡内郷村綴 馬目名會社

近盛 平市才館小路 武藏鐵工場

電話五二四番

平市白銀町 藤浪工業所

電話六九番

平市五丁目 武子屋商店

電話六一八番

石城郡各小學校會